

告 辞

桜の花が舞い、本格的な春の到来を感じさせる本日、新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。佛教大学の教職員を代表して、心からお祝い申し上げます。また、本日まで、新入生お一人お一人の成長を支えてこられた保護者やご家族の方々、関係者の皆さまに、心からお喜び申し上げます。

さて、本日より皆さんは大学生、大学院生、別科（仏教専修）生として、それぞれ新しい環境に身を置き、新たなステージで学びの歩みをスタートすることになります。佛教大学は、建学の理念である仏教精神を根底に、自分を大切に、他者をも大切にできる人を社会に送り出して 111 年を経過しました。その仏教精神とは、本学においては仏教を開かれた釈尊と浄土宗を開かれた法然上人に共通の生き方と考え方を指します。

釈尊は、私たちの心のなかにある問題、すなわち煩惱の存在に気付き、それを捨てて生きることを教え、こだわりから離れることの大切さを説かれました。

一方、法然上人の教えには「還愚（げんぐ）」という考えがあります。それは本当の自分を正しく認め、その自分にできることをしっかり携えて、未来に向かって着実に歩んでいくことです。いずれも、目の前に起こる現実を正しく見据え、自分のなすべきことをしっかりと行っていくことに他なりません。

佛教大学で学ぶ皆さんは、それぞれの学びの過程で仏教精神に触れ、それを身に付け、世の中の変化に柔軟に対応できる姿へと変身し、本学を巣立っていく頃には、自分のできることを手に入れ、それを携えて、自信をもって希望の未来に歩んで行ける人になっていることでしょう。

ところで、佛教大学の学生となるに際し、仏教精神とともに皆さんにぜひ心がけていただきたいことがあります。それは「多様性の尊重」です。私たちはこの世を一人で生きているわけではありません。さまざまな他者と関わり、その関係性の中で生きています。また誰にも得手不得手があり、長所や短所があります。だからこそ自分のことだけを考え、気ままに振る舞うのではなく、自分にないものが他者にあり、他者にないものが自分にあるならば、互いに補い合い協力し、他者を気遣い、他者を尊敬し重んずる心で接することで、より良き世界が実現するのではないのでしょうか。他者を尊重し多様な存在を尊重することができれば、多くの人を傷つける戦争などを引き起こすこともなくなるでしょう。

ロシアのウクライナ侵攻は一年を経て、いまだ終息する兆しがありません。本学は仏教精神に基づき人類福祉の増進に貢献することを使命として世界の平和を願い、活動しています。一方的な理屈によって他者の命を奪い尊厳を踏みにじる行為には断固として反対し、停戦と平和的な解決を求めています。私たちは、今も苦しみの最中にあるウクライナの人たちに心を寄せ、一刻も早く平和な状態が戻ることを願い、いま自分ができることを行っていくかなければならないと考えます。

世界中で紛争や人権問題など、様々な困難な状況があり、また地震や災害等も頻発するなかで、場所を奪われ、命を落とす方、傷ついた方もあるでしょう。私たちは誰もがそのような状況に遭遇する可能性があります。だからこそ、そういった人々の存在に気づくことが大

切です。

また、今、頻発する気象災害の要因の一つとなっている地球温暖化に歯止めをかけることが必要となっています。本学はこの重要性を認識し、カーボンニュートラル（脱炭素）を目指した取り組みとして、エコキャンパスの実現を地域社会の方たちと一緒に進めています。これら社会貢献活動への参画も社会人に向けて重要な歩みとなるものであり、是非とも学生時代に取り組んでいただきたいと思います。大学で学べる環境にあることに感謝し、真摯に自分と向き合い、新たな学生生活の中で、多様性の尊重、協調、平和の意義などを学びつつ、自分にできることを考えていただきたいと思います。

これらの学びが研究活動に幅を持たせ、大学生活を充実させることになるのはもちろん、皆さんの人間性にも影響を与える、何物にも代えがたい経験につながっていくでしょう。そして、それぞれが所属する学部、学科、研究科、専攻などでその経験を活かして、仮説を立てて実証し、学問を発展させ、自らの知見を確立してください。

さて、新型コロナウイルス感染症は落ち着きを見せ、5月8日からインフルエンザと同等の5類へと移行します。本学も本日から、感染症拡大防止のために制定した活動基準による運用を停止いたします。この鷹陵館メインホールに皆さんをお迎えしての入学式は3年ぶりのことです。今日から、佛教大学も皆さんと一緒にポストコロナの新しい一歩を踏み出します。しかし感染症が終息したわけではありません。今後もウイルスは変異して、いつ感染拡大が進むとも限りませんので、個人個人で基本的な感染対策を行い、注意しながら、新たな一歩をいっしょに進んでまいりましょう。

皆さんは本学での様々な学びを経て、着実に成長し変身します。その姿をみて、きつとご家族や友人、皆さんをとりまく人たちは驚かれることでしょう。皆さんの成長と変身が、周囲の人たちにも影響を及ぼして、皆さんを中心として社会が変わっていくことに繋がります。そのようにして、皆さんが社会の中で活躍することのできる力を手に入れることができるように、私たち佛教大学の教職員一同は、皆さんの学びと学生生活を応援していきます。

皆さんの入学を心から祝福し、告辞いたします。

改めまして、ご入学おめでとうございます。

令和5年4月1日

佛教大学長 伊藤 真宏